**職 務 経 歴 書**

20◯◯年◯◯月◯◯日現在

氏名　○○ ○○

**■職務経歴概要**

大学卒業後、社会福祉法人◯◯へ入社。介護福祉士として介護老人保健施設にて勤務。入社2年目からはリーダー業務を担当。排泄処理、食事補助など介護業務の傍ら新人教育にも対応。入社5年目からは副施設長として勤務。運営業務の他、入居者様のご家族対応、行政との対応、本社定例会議参加など、施設の運営に関わる業務全般に携わってきました。

**年収を上げる職務経歴概要作成のポイント：重要なポイントを短くまとめる**

職務経歴概要は一読しただけで、これまでの経験が分かるようにまとめることがポイントです。何度も読み直して、余分な文章をそぎ落とした内容にしましょう。

転職経験がない場合は、これまでの実績や担当業務のポイントを短くまとめることが大切です。

**20◯◯年◯◯月　○○株式会社入社　　　（在職期間：　◯年◯◯ヶ月）**

　事業内容：介護老人保健施設運営、訪問介護事業

　従業員：◯◯名　　売上：◯◯◯◯円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **勤務期間** | **業務内容** | **職場環境** | **役割** |
| 20◯◯年◯◯月　～　20◯◯年◯◯月 | 介護スタッフ（へルパー）・介護老人保健施設の介護業務・食事、排泄、入浴介助、清掃業務・レクリエーションイベント運営 | 介護職：23名看護師：2名 | 介護職 |
| 20◯◯年◯◯月　～　20◯◯年◯◯月 | 副施設長・スタッフ管理、売上管理・本部との連携、定例会議への参加・評価制度の導入、実施・エクセルによる売上実績データ管理・行政機関との対応・入居者のご家族対応・施設運営業務【実績】サービスの品質向上を目的に入居者の家族との意見交換のイベントを定期的に実施。アンケートも実施することで、家族からの要望を取りまとめ、介護の方法や施設内の備品、レクリエ―ションの備品に反映。業務の改善を試みた結果、利用者・家族ともに満足度が80％から95％へ向上した。 | 介護職：25名看護師：2名 | 副施設長 |

**年収を上げる職務経歴作成のポイント：業務内容だけでなく実績も記載する**

介護職の職務経歴は、業務内容を分かりやすくまとめることが基本です。しかしそれだけに限らず実績も記載することで、より印象に残りやすい職務経歴とすることができます。

リーダー経験、日々の介護業務での工夫、企画の提案など、自分で考えて行動し結果につながったことがあれば、実績として書いておきましょう。

■**これまでの経験・技術・知識**

・介護業務

・パソコン基本操作スキル

・Word、Excel、PowerPoint（文書作成程度）

・業務における自動車運転（AT車）

**■取得資格**

20◯◯年◯◯月　　普通自動車免許

20◯◯年◯◯月　　介護福祉士

20◯◯年◯◯月　　福祉住環境コーディネーター

**■自己PR**

私は介護職として、これまで8年間働いてきたことが強みです。介護老人保健施設で長く働いてきたため、介護度が高い高齢者への介護技術を身につけることができました。

また認知症のフロアも担当してきたので、介護の現場で起きる問題には一通り対応することができるようになったと自負しております。

また副施設長になってからは、介護や看護など職員が働きやすい環境を整えることにも配慮してきました。職員の定着率を高めるための具体的な取組みとして、職員との定期的な面談の実施があります。

異動の時期は極力個々の希望に合わせた業務へと配置することで、離職率が26％から5％まで下げることに成功しました。

今回は介護職としての応募ではありますが、ゆくゆくはこれまで培ったマネジメントスキルも活かして、御社へ貢献していきたいと所存です。よろしくお願いいたします。

**年収を上げる自己PR作成のポイント：具体的なエピソードを取り入れよう**

介護職で自己PRを作成する際は、身につけたスキルや経験だけでなく、どのように身につけることができたのか、具体的なエピソードを取り入れましょう。そうすることで採用担当者の印象に残りやすくなるからです。

また自己PRは量を書き過ぎると逆に、印象が薄くなるリスクがあります。PRしたい経験やスキルがいくつかある場合も、2～3つ程度にポイントを絞って作成することもおすすめします。